

リスク評価機関は25年以上の経験から、環境リスク評価 (ERA) のための安全性に関するデータを豊富に所有しており、様々な生育条件下で多様な遺伝子組換え (GM) 作物を評価するのに役立っています。それにもかかわらず、世界各国の規制機関が要求するデータと評価方法には一貫がありません。

ERAに対して洗練され、調和のとれたアプローチをとるべき時が来ています。

## 重要なプロセス

2017年におけるガーナ全体の雇用の

**41%を**  
**農業が占めています。**



## データを集結させるべきは今



GM作物、形質および安全な使用の歴史に関して蓄積した既存の知識と経験を活用することで、安全性評価を行い、**データ要求事項を合理化**することができます。



## 収益になり得る機会



**7900万米ドル**

害虫抵抗性GMササゲの導入により、今後6年間で7900万米ドルの経済的利益がガーナ経済にもたらされる可能性があります。\*



また、調和した要求事項により、規制機関へ**一貫性のあるデータ**が提出されます。

## 失われた機会

中国では、害虫抵抗性GMイネの導入の遅れにより、2009年から2019年にかけて毎年120億米ドルの経済的損失が発生したと推定されています。\*



**\$12B**



**25年**

GM作物は25年以上にわたり安全に栽培されています。



## 知識は力

現在、普及しているGM作物に関する知識は、将来の**GM作物**に応用されます。



| 現在     | 将来    |
|--------|-------|
| トウモロコシ | イネ    |
| ダイズ    | ササゲ   |
| ワタ     | キャッサバ |
| ナタネ    | バナナ   |
| パパイヤ   | ヒヨコ豆  |

\*<https://www.frontiersin.org/articles/10.3389/fpls.2019.01226/full>  
\*\*Dzankuらによる推定(2019) 国際食糧政策研究所/科学技術政策研究所